

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-262365

(43)Date of publication of application : 28.10.1988

(51)Int.Cl.

B65H 26/06
H04N 1/00

(21)Application number : 62-096616

(71)Applicant : MATSUSHITA GRAPHIC COMMUN SYST INC

(22)Date of filing : 20.04.1987

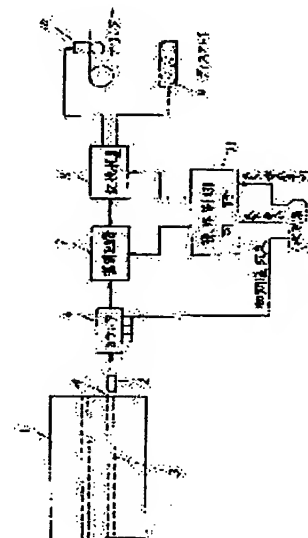
(72)Inventor : KIZAWA MAKOTO

(54) DETECTING DEVICE FOR AMOUNT OF REMAINING RECORDING SHEET

(57)Abstract:

PURPOSE: To enable detection of an amount of remaining recording sheets without forming a recording sheet display window, by providing a circuit which computes an amount of remaining recording sheets from the number of revolutions detected by a counting device for a recording sheet in roll, a memory device for an amount of remaining recording sheets, and an output device.

CONSTITUTION: When a recording sheet is pulled out from a recording sheet 1 in roll through receipt by a facsimile device and a copy motion to use the sheet in roll, the roll 1 is rotated, and the number of revolutions is counted by a counter 6. The counting value is inputted to a computing circuit 7, the circuit 7 computes an amount of remaining recording sheets based on a similar function to store the result in a memory device 8. The memory 8 stores the amount of the remaining recording sheets even in a state to switch OFF the power source of the facsimile. At a point of time when the power source of the facsimile is made, a present amount of the remaining recording sheets stored in the memory device 8 is outputted to a printer 10 by means of a control device 11 for printing-out. Further, by reserving display of a remaining amount in an operation and control circuit 11, when an amount of the remaining recording sheets is increased to a specified value, it is automatically printed out by means of the printer 10.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-262365

⑮ Int. Cl.⁴B 65 H 26/06
H 04 N 1/00

識別記号

1 0 8

庁内整理番号

7828-3F
H-7334-5C

⑬ 公開 昭和63年(1988)10月28日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 記録紙残量検知装置

⑯ 特 願 昭62-96616

⑰ 出 願 昭62(1987)4月20日

⑱ 発 明 者 木 沢 誠 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下電送株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電送株式会社 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

記録紙残量検知装置

2. 特許請求の範囲

(1) 記録紙ロールの回転数を検知する計数手段と、この計数手段が出力する回転数から記録紙残量を演算する演算手段と、この演算手段が出力する記録紙残量を記憶する記憶手段と、この記憶手段が記憶している記録紙残量を表示する出力手段とを有する記録紙残量検知装置。

(2) 記録紙ロールの回転数を検知する計数手段が、記録紙の巻芯端面に設けられた検知用マークと、この検知用マークを読み取るセンサーと、このセンサーからの出力を計数して記録紙ロールの回転数を検出するカウンタとからなることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の記録紙残量検知装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、ファクシミリ装置等、ロール状の記

録紙を使用する装置において、記録紙の残量を検知するための記録紙残量検知装置に関する。

従来の技術

従来、ファクシミリ装置等のロール状記録紙を用いる装置において、記録紙の残量を知らせるための手段として、装置外装に、装置に装着した記録紙ロールの一部を外部から見ることができるように表示窓を設けており、その表示窓によって装置利用者が記録紙を直接見て、目分量をもって記録紙残量の目安としていた。

また、記録紙表示窓を備えていない装置においては、記録紙残量が少なくなった時点で、有色の記録紙を排出する方法、或いは記録紙が無くなった時点で出力装置によって表示する等の方法が用いられていた。

発明が解決しようとする問題点

しかし、かかる構成によれば、記録紙残量を正確に知ることができず、記録紙交換の時期が正確に予測できない、また、記録紙表示窓を装置外装に設けることによって、装置における他の機能空

間を抑える必要があり、更に、記録紙設定の位置が外装付近に限られてくるという問題があった。

上述問題は以下の理由で生ずる。すなわち、第一に以前にあっては、記録紙残量確認は、記録紙表示窓によるもので十分であったが、最近では装置の多様化、小型化によって装置外装の記録紙表示窓が余分な空間であると考えられ、その空間を他の機能面に活用しようという傾向があること。

第二に、第一の理由によって表示窓の廃止を行った場合、装置の使用頻度の増加によって、記録紙有無の確認のみでは不十分であり、更には、記録紙交換の時期を正確に知る必要性が生まれてきたことである。

第三に、装置機能向上等による機構部の複雑化によって、記録紙設定位置を装置外装付近に決定することが、開発段階において困難になってきたこと等があげられる。

本発明は、上述の問題点に鑑みて為されたもので、記録紙表示窓を設けることなく、記録紙残量を検知することの可能な記録紙残量検知装置を提

供することを目的とする。

問題点を解決するための手段

本発明は上述の問題点を解決するため、記録紙ロールの回転数を検知する計数装置と、この計数装置によって検知した回転数から記録紙残量を演算する演算回路と、記録紙残量を記憶する記憶装置と、記録紙残量を表示する出力装置とを設けるという構成を備えたものである。

作用

本発明は上述の構成によって、記録紙ロールの回転数を計数し、その回転数から記録紙残量の定量的なものに演算することができ、また、その記録紙残量を記憶装置に記憶させて、必要な時に出力装置に出力表示させることができ、容易に記録紙残量を確認することができ、従来のような記録紙表示窓を設ける必要がなくなる。

実施例

以下、図面に示す本発明の実施例を説明する。第1図はファクシミリ装置に設けられた、本発明の一実施例による記録紙残量検知装置を示す概略

ブロック線図であり、1はファクシミリ装置の所定位置に装着された記録紙ロール、2はその記録紙ロール1の巻芯端面に対向する位置に配置されたセンサーである。第2図(A)はこの記録紙ロール1の端面を示すもので、記録紙ロール1は中心の巻芯3の端面にマーク4を備えている。このマーク4は、巻芯3の端面に有色の線を引くとか有色の紙を貼ることにより形成可能である。また、第2図(B)に示すように、巻芯3の端面に突起物5を取り付け、この突起物をマークとしてもよい。マーク4は記録紙ロール1から記録紙を繰り出す際に、円運動を行う。センサー2は、円運動をするマーク4を検出するためのものであり、光センサー、ホール素子、マイクロスイッチ、リードスイッチ等が使用できる。

第1図において、6はセンサー2からの出力をカウントするカウンタである。カウンタ6による計数値は、記録紙ロール1の累積した回転数となる。従って、このカウンタ6及びセンサー2、マーク4等は、記録紙ロール1の回転数を検知する

計数装置を構成する。7はカウンタ6から出力される回転数から記録紙ロール1の残量を演算する演算回路である。記録紙残量と回転数の間には、一般に第3図(A)に示す関係があり、第3図(B)はその近似関数を示している。すなわち、第3図(B)では、勾配が異なる3本の直線によって近似しており、演算回路7は、第3図(B)に示すグラフから記録紙残量を演算する。もちろん、記録紙残量と回転数との近似関数は、第3図(B)に示すものに限定されるものでなく、近似する直線数を多くすることにより、精度の良い演算が可能となる。第1図において、8は演算回路7によって演算される記録紙残量を記憶する記憶装置であり、電源切断時にも記憶内容が保持される不揮発性メモリーが使用される。9は記憶装置8に記憶された記録紙残量を表示するディスプレイ、10はプリンタであり、これらは記録紙残量を表示する出力装置である。11は操作及び制御回路であり、以下に示す動作を行う機能を備えている。

次に、上記構成の記録紙残量検知装置の動作を

第 3 圖

第 2 圖

